

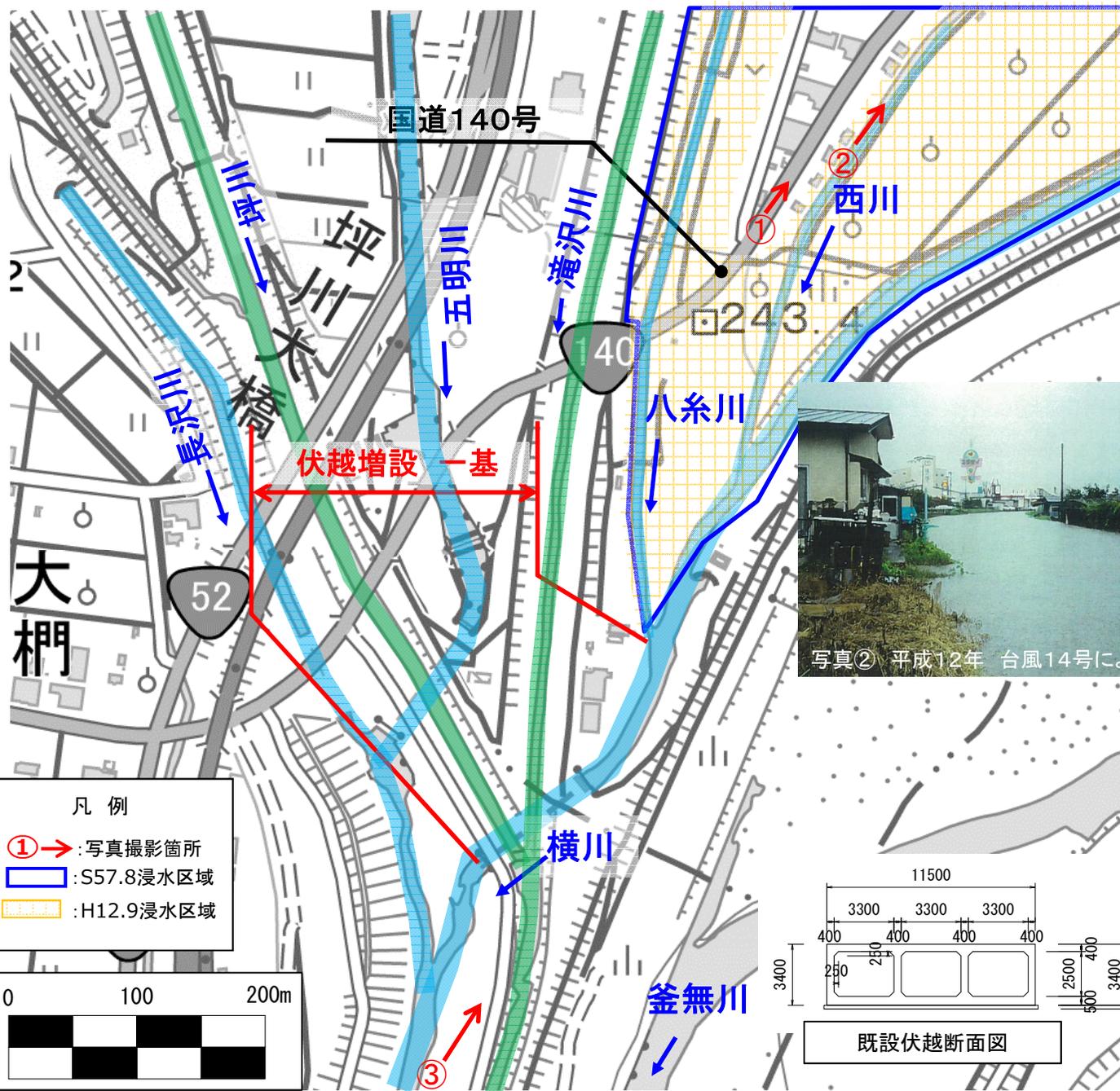
1. 事業説明シート

事業名	治水事業 [基幹河川改修事業 (国補)]	事業箇所	南アルプス市高田新田	地区名	横川	事業主体	山梨県								
(1) 事業の概要				(3) 中・長期計画等の位置付け											
<p>①課題・背景</p> <p>一級河川横川は、釜無川・滝沢川に挟まれた低地河川であり、滝沢川・坪川合流付近において伏越により流下している。 昭和57年8月の台風や平成12年9月、平成23年9月の台風により、度々浸水被害が発生しており、さらに昨今全国的に豪雨が頻発していることから、早急な治水対策を実施し、治水安全度の向上を図る必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○洪水被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修目標流量に対する現況流下能力： $0.39 < 0.4$ 以下※ 浸水被害又は水防活動の実績：有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 (重要な公共施設：国道140号) ※評価基準値 <p>□副次目標 ー</p> <p>□副次効果 ○被災時の被害波及の防止</p> <p>③目標達成の方法</p> <p>横川における伏越の整備による流下能力の向上 流下能力 $Q=55\text{m}^3/\text{s} \rightarrow Q=140\text{m}^3/\text{s}$</p>				<ul style="list-style-type: none"> 「山梨県総合計画」 (令和3年改定) 「山梨県強靱化計画」 (令和2年3月改訂) 「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」 (令和3年3月改定) 											
(2) 整備内容				(4) 事業位置図等											
<p>①整備内容 伏越増設 一基</p> <p>②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和12年度</p> <p>④総事業費 約4,200百万円 (国費2,100百万円(5/10)県費2,100百万円(5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="165 1161 1167 1230"> <tr> <td>令和4~5年度</td> <td>詳細設計、用地補償 一式</td> <td>210</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6~12年度</td> <td>伏越改修 一式</td> <td>3,990</td> <td>百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				令和4~5年度	詳細設計、用地補償 一式	210	百万円	令和6~12年度	伏越改修 一式	3,990	百万円	 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ : 今回事業評価箇所 ■ : 既整備箇所 			
令和4~5年度	詳細設計、用地補償 一式	210	百万円												
令和6~12年度	伏越改修 一式	3,990	百万円												
<p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <p>既整備内容：河川改修、S42~H10、L=4km</p>															

2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>河川法第1条及び第9条により、河川の洪水防止を義務づけられている。</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>浸水被害を早急に解消するための唯一有効な手法である。</p>																																																					
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か) 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>県管理一級河川 (指定区間) である。</p>	<p>□他の整備手法の有無 〈有 (無)〉</p> <p>(状況)</p>																																																					
<p>(3) 経済効率性 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">総事業費</td> <td style="width: 15%;">4,200</td> <td style="width: 15%;">百万円</td> <td style="width: 10%;">工期</td> <td style="width: 15%;">R4~R12</td> <td style="width: 10%;">基準年</td> <td style="width: 10%;">R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>3,600</td> <td>百万円</td> <td>便益</td> <td>4,724</td> <td>百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建設費</td> <td>3,359</td> <td>百万円</td> <td> 一般資産被害</td> <td>2,291</td> <td>百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 維持管理費</td> <td>241</td> <td>百万円</td> <td> 公共土木施設等被害</td> <td>2,084</td> <td>百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td> その他※</td> <td>349</td> <td>百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td colspan="5">1.3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※その他は、農作物被害便益、営業停止損失便益、応急対策費用便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>		総事業費	4,200	百万円	工期	R4~R12	基準年	R3	経済効率性	費用	3,600	百万円	便益	4,724	百万円		建設費	3,359	百万円	一般資産被害	2,291	百万円		維持管理費	241	百万円	公共土木施設等被害	2,084	百万円					その他※	349	百万円							百万円			B/C	1.3							<p>なし</p>
	総事業費	4,200	百万円	工期	R4~R12	基準年	R3																																															
経済効率性	費用	3,600	百万円	便益	4,724	百万円																																																
	建設費	3,359	百万円	一般資産被害	2,291	百万円																																																
	維持管理費	241	百万円	公共土木施設等被害	2,084	百万円																																																
				その他※	349	百万円																																																
						百万円																																																
	B/C	1.3																																																				
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>当該箇所は流下能力が不足しており、恒常的な浸水被害を防止するため、最も効果的な事業規模である。</p> <p>□同等施設等 (計画を含む) の有無 〈有 (無)〉</p> <p>(状況)</p> <p>□必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況)</p> <p>計画流量は$Q=140\text{m}^3/\text{s}$であるのに対し、既設伏越の流下能力は$Q=55\text{m}^3/\text{s}$と不足している。そのため、既設と併せて、計画流量を満足する整備規模である。</p>	<p>(6) 環境負荷等への配慮 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>伏越整備に際しては周辺景観との調和に努める。</p>																																																					
<p>(7) 事業計画の熟度 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>(理由)</p> <p>事業区間では平成23年にも浸水があり、地元から強い要望がある。地元への説明も行っており、同意は得られているため熟度は高い。</p>	<p>《総合評価》 〈(妥当)・妥当でない〉</p> <p>7項目全て妥当と評価されることから実施が妥当と判断する。</p>																																																					

3. 添付資料シート (1)



※概略検討のため確定したものではない

出典: 国土地理院地図

3. 添付資料シート (2)

